

小来川地区内公共施設適正化検討専門部会会議概要

件名	第三回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会		
日時	平成31年4月22日(月) 18:00~19:50	作成日	2019年4月26日
場所	小来川林業研修センター 2階多目的ルーム	記録者	資産経営課 齋藤
出席者			
<日光市> 小林資産経営課長 公共施設マネジメント係 星課長補佐 齋藤副主幹、高梨小来川地区センター長		<専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略)	
会議概要			
1. 開会 2. 部会長挨拶 「皆さんこんばんは。4月ということで、年度が替わりましてメンバーも少し変わったようであり ます。また、今日は非常に暖かくなっているのですが、前回から比べますと上着一枚違うような陽 気が変わりまして、小来川の桜も散り始めた季節になりました。 前回はグループワークということで、小来川の良い所として、小来川の自然や人といったところが 良いだろう、問題は高齢化、若い人がいないというのが問題と出ていましたけれども、そういった 対策が10年後に生きればということで検討いたしました。私も65歳で、頭が硬くなっていて、 若い方の話を聞いて、非常に参考になりました。やはり、色んな人の意見が集まって、また、次の 社会に向けて良いアイデアが出ればと思っております。どうぞ皆さんよろしくお願ひいたします。」			
3. 議事 ○グループワーク ▶西尾アドバイザーの進行により別紙3グループに分かれて作業 ●前回のグループワークでは、小来川の「強み」あるいは「弱み」それを今後10年先に向か って、どうしていくべきかということをお話した。 ●今回は、それを踏まえて、10年後の小来川のまちを良くしていくために、全体のテーマでも ある公共施設をどう考えていったら良いかということに話題を移していきたい。 ▶前回どのような話がされたか、グループ内で情報を共有するところから始める。			
【テーマ：「将来の小来川のまちに向けた公共施設のあり方」】			
将来の小来川のまちと言うのは、前回のグループワークで皆さんに検討していただいた、10年 後20年後小来川をもっと良くするためにこうしたら良いと思った、将来のまちの形。それを実 現するために公共施設をどう考えていったら良いかのアイデアを皆さんに出していただく。			
●検討していただく小来川地区内の公共施設は、配布したニュースレターを参照 ●当該地区に15の公共施設がある。なかでも、建物の老朽化が進んでいる公共施設として、 4つあげられている。 ①小来川小中学校(S49年築)、②小来川保育園(S62年築)、③小来川地区センター(S 43年築)、④小来川林業研修センター(H3年築)、特にこの4つを中心に考えていただ きたい。 ●それ以外にも多目的集会施設とか、デイサービスセンター、診療所など、全部で15の施設			

会議概要

があるので、全体を捉えていていただければ。

- これから人口はかなり減少していくということも予想されていますし、建物も古くなっていくと、建替えをしていかなければならないが、全てを建替えるだけの財政的余裕もないというなかで、どのように工夫していけば、10年後のより良い小来川のまちに繋がっていくかという観点でアイデアを出していただきたい。
- 個々の施設についてのアイデアでも良いし、地区全体の施設の再編について、あり方のアイデアでも良い。

➤ グループワークまとめ（発表）

- グループワークの中で意見交換した「将来の小来川のまちに向けた公共施設のあり方」についてグループごとにまとめる。
- グループごとに発表。
- 発表後に投票を行う。（1人3票で、自分の班の意見に投票できるのは1票まで）

■ Aグループ



大きく、現在ある施設と外部からを対象とした施設とに分けた。

- 現在ある施設については、診療所、小来川支所、デイサービスセンターを一つにするとか。学校と保育園を一つにするとか。一体化して、まとめた方が良さだろうという意見になった。
- 条件として、多くの人が集まりやすい場所、行きやすい、施設自体はバリアフリーにすべきで、構造も複雑ではなくて、使いやすい構造にしてほしいという意見があがった。
- 小来川の良い所を生かすということで、外から人が

来るような施設ということで、山や川で遊べるような、または、そういう施設を備えた公園そういうものを作ってはどうか。そこには、例えば外から来た方が泊まれるような施設とか、老人が年をとったら住めるような家とかを整備する。具体的には、道の駅とか、山の駅、直売所等の施設。

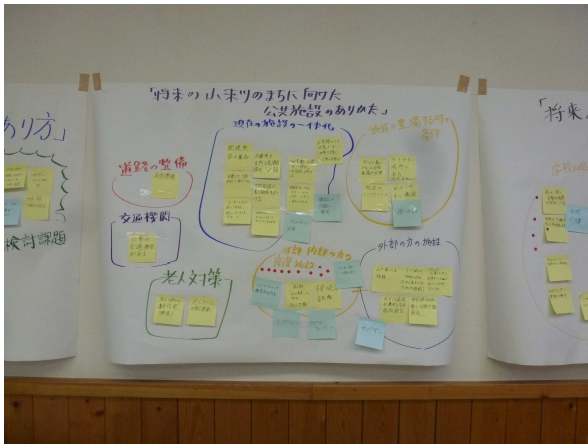
●直売所については、外から来る人のためだけではなく、小来川は今お店がないので、住民のためのお店を兼ねたものを作るということを考えて。それに対して、今の施設運営だと、そこで販売が出来ないというような制度も考えなくてはならないのではないかと、また、村営でコンビニを作っている事例もあるので、公共でコンビニを作って、若い人や地元の人が使えることが良いのではないかと。それにあたっては、今流行のクラウドファンディングを利用したり、そういったお金の集め方をすれば出来るのではないかとアイデアがでた。

●そのなかで、重要な道路の整備や、交通機関の整備も必要。また老人対策として独居老人とか老夫婦が住めるような集合住宅、外からも地域内の高齢者も入れるような老人ホームを作ってはどうかという意見が出た。

現在の施設の一体化に向けては、学校などと一緒になる場合は、その機能ごとのすみ分けというか、子供がいるところと、一般の人がいるところのすみ分け、構造的な工夫も必要ではないか。

会議概要

■ Bグループ



「将来の小来川のまちに向けた公共施設のあり方」でまず求める要素はバリアフリーで長く使えて、安全・安心でシンプルで使いやすいことが最優先。

●最優先の事項を考えると、複合施設ということになってしまうかもしれないが、それだけでは、この小来川がただ高齢化が進んで、子供がいなくなって、過疎化が進んでいくという未来しか想像できない。

●それを打開する策として、人を集めるということで、「温泉を掘る」・・・温泉を掘るとするのは、大変

な作業だと思うが、それだけではなく、人が集まれる場所、他の地域からも人が集まる場所をつくっていくことが小来川が発展していく未来が見えてくるのではないかと

●そういった場所をつくることに伴って、おじいちゃん、おばあちゃんの力を借りて、シルバー人材センターのようなものを利用して、小来川の中で地域の人々が活性化していけるような場所が必要なのかなと思う。

●福寿荘（民間施設）を再開してもらおうとか、道の駅とかなども出来ないか等の話が出た。運動公園等も道の駅等と一緒に、人が集まれる場所を作ることが必要と考えた。

■ Cグループ



一番は、人が集まれる施設ということ。

●色んな意見が出た中で、サイクリングコースとかサバイバルゲーム、コスプレ、ボルダリング、キャンプ場、アスレチック、トレッキング等を出来る施設をつくるか。人が集まれる施設を作った方が良いのではないか、そういう風にしていかなくてはならないという意見が出た。

●公共施設についてどういう風にしていくかについては、基本的に複合化。面積だけで言えば、小中学校一つで、支所機能や診療所等の諸々の施設が入ってもスペース的に余裕があるのではないかなと思う。

●先程、学校と他の機能を区切って分けて行かなければという意見もありましたが、むしろ、老人と子供が触れ合えるような作り方で利用していけるのが良いのではないかと考えた。

複合施設ということで考えれば、お店的なものとか、銀行・郵便局等の機関を含めて一つの施設のなかで、やっていけるのが良いのではないかと考えた。

●施設の有効活用ということで、皆が集える場所、他のグループでも出ていたが、道の駅とか、山の駅とか等の施設をつくるというか、既存の施設を利用していかなければならないのではないかと話をした。

●色んなことをやる上で、先程学校に色んな機能を複合化してという意見を出しましたが、他の施設については、民間に貸し出して、利用していくということで、地域の活動するための資金も確保しなければならないという中で、行政に頼ってもなかなか出来ないところだと思うので、民間の力というところを考えていかなくてはならないのではないかと話になった。

会議概要



各グループ発表後、一人3票で、良い方策と思うものに投票を行いました。

▶ 西尾アドバイザー（グループワークを振り返って）

- 皆さんに投票していただいたなかで、一番票を集めたのが「みんなが集える場所」12票集まっている。別のグループの「人が集まれる施設」という所に5票集まっているので、みんなが集まれる場所が大事だということをみなさん大事にされているのかなと感じました。
- 全体を見て、感じたのが、一つは中に住んでいる人の為の、小来川地区の皆さんが住みやすいところという観点になった時に、ここが一番重要なキーワードとなって、「人が集まれる、人が集える」というところなのかなと感じました。
- もう一方、中の人だけではなく、外から人を呼び込まなくてはいけないという問題意識が出ているのかなと思いました。次に多かったのが、「外部と内部の方のための商業施設」というところに10票以上票が集まっています。
- 道の駅をつくるとか、コンビニとかクラウドファンディングとかトレイルランニングとか色々なキーワードが出ていますが、外から人を呼び込んで、中の人との共用という商業のところも大事だという、外と中の両方の視点が見えるのかなと思います。
- 皆さん共通して出されていて素晴らしいなと思ったのは、将来人口が減って行って、施設も今のまま維持していけないとなると、施設を集約化する、複合化する、これはやっていかざるを得ないということを、指摘されている。非常にそれは重要な観点で素晴らしいなと思います。
- ただ、単に複合化するだけではだめだよという発表をされていて、プラスαが大事だと言うことで、先程のような人が集える場所とか、外からも人が呼べるというような観点を色々入れて行くということが大事であるという指摘だったのかと思います。
- その中でも、小中学校を中心に複合化を進めて行くということを中心に、または学校の近くに集約というように書かれていて、ここに5票集まっていますが、やはり一番の核の施設は小中学校だと思しますので、学校を核として、集約化していくと言うのは、皆さん一つの方向性として、考えられているのかなと思います。
- そのなかで、2つの観点があって、両方大事だと思いますが、学校の中の安全性という観点では、子供とそれ以外の利用者が分けられるという視点も大事だと思いますし、せっかく子供も高齢者の方も使うのであれば、交流を促進するという、そちらの視点も大事だと思いますので、いかに安全性を確保しつつ、交流を深めていく工夫をしていくかというところが、この学校を中心とした複合化を考えていく時の一つのポイントになっていくのかなと感じました。
- 私が個人的に良いなと思ったのが、給食室を使えるようにしてもらえると、色んな使い方ができて良いというアイデアですとか、学校のなかに保育園異動した方が良いとか、女性の視点ですとか、女性の方がこういう公共施設を普段よく使われていると思うので、男性は公共施設使う機会はなかなか少ないと思うので、女性の皆さんのまさに使っている方の視点での工夫と言うのが入ってくると、凄くいいなと思っていて、そういったアイデアがいつか実現できると良いなと思いました。
- 前回の話し合いのなかで、皆さん小来川の良いところをいかに生かして行って、10年後20年後、今回は公共施設の観点からまとめていただいて、非常に良い意見が集まったなと思っています。

以上

会議概要